

第7章 直接原価計算

(1) 直接原価計算

製造原価のうち、変動費のみを製品の原価として計算する方法。

⇒変動費に着目することでより適切な原価管理（利益管理）ができるようになる。

損益計算書（直接原価計算）		
I	売上高	1,000
II	変動売上原価	450
	変動製造マージン	550
III	変動販売費	300
	貢献利益	250
IV	固定費	
	1 固定製造原価	100
	2 固定販売費・一般管理費	50
	<u>営業利益</u>	<u>150</u>
		100

(←マージン：原価と売値の差)

(←全部原価計算で算出された営業利益と異なる)

変動費＝直接原価

固定費＝期間原価

と呼ぶこともあるため、「直接原価計算」と呼びます。

(問題)

次の資料に基づき、全部原価計算の損益計算書と直接原価計算の損益計算書を示しなさい。

1 当期の生産・販売データ

期首仕掛品	0個	期首製品	0個
当期投入量	20個	当期完成	20個
合計		合計	20個
期末仕掛品	0個	期末製品	2個
当期完成品	20個	当期販売	18個

2 当期の原価データ

- ① 原料費 (すべて変動費) @15 円
- ② 加工費 (変動費) @25 円
(固定費) 400 円
- ③ 変動販売費 @10 円
- ④ 固定販売費 100 円
- ⑤ 一般管理費 (すべて固定費) 90 円

3 販売単価 @90 円

損益計算書（全部原価計算）

I	売上高	() 円
II	売上原価	
	期首製品棚卸高	0 円
	当期製品製造原価 () 円	
	期末製品棚卸高 (△) 円 () 円	
	売上総利益	() 円
III	販売費及び一般管理費	() 円
	営業利益	() 円

損益計算書（直接原価計算）

I	売上高	() 円
II	変動売上原価	() 円
	変動製造マージン	() 円
III	変動販売費	() 円
	貢献利益	() 円
IV	固定費	
	固定製造原価	() 円
	固定販売費及び一般管理費	() 円
	営業利益	() 円

(解答)

損益計算書 (全部原価計算)

I	売上高		1,620 円
II	売上原価		
	期首製品棚卸高	0 円	
	当期製品製造原価	1,200 円	
	期末製品棚卸高	<u>△120 円</u>	1,080 円
	売上総利益		540 円
III	販売費及び一般管理費		<u>370 円</u>
	営業利益		170 円

(注意) 加工費 (固定費) は、販売分 (18 個) のみを売上原価とし、期末製品 2 個分の加工費 (固定費) は売上原価に含まれていません。

損益計算書 (直接原価計算)

I	売上高		1,620 円
II	変動売上原価		<u>720 円</u>
	変動製造マージン		900 円
III	変動販売費		<u>180 円</u>
	貢献利益		720 円
IV	固定費		
	固定製造原価		400 円
	固定販売費及び一般管理費		<u>190 円</u>
	営業利益		130 円

※両方のパターンの損益計算書を何も見ないで書けるようにすること。

※それぞれの方法で異なった営業利益が算出されることに注意。(全部原価計算では費用 (売上原価) が少なく計上される分、資産 (仕掛品) が多く計上される。)

